震ハ愛知岐阜両縣下を限りて最も其強く極めたる者の如く然り而して其震動線の震害地の概況を述ぶれば名古屋市より南々東は稍弱くして北々西に強猛なり茲に其實況視察の記を作す

●名古屋市を西北に去る八枇杷嶋町あり一里餘に亘れる市街にして其両側に櫛比したる人家ハ将基倒しとなり又ハ焼失す

●清洲町東入口の人家五六十戸を残して餘ハ悉とく顛倒

全く狭根尾谷の地盤陥没に原因したる者なりと云ふ

●大垣町は戸数四千餘商業繁昌の地なりしが今回の震災と火災とにより全市を挙げ灰燼に帰して只旧城の天主閣のみ残れり此町は先年の水災により市民困弊今復此災害に遭ふては終に回復するを能はずして全く滅亡となるべし死傷殊に多く惨中の惨なる者なり

●大垣町より今尾町高須町及び竹ヶ鼻町に来り見

上に記したる事實は三日間の行程僅かに一目の看過なれば其惨状の惨を写し得るを難く殊に此印行ハ震害線の地圖にありて叙事紀實にあらずと云ども其概況は盡し得たる心得なり只名古屋市の記事ハ此に載せざるも郵便局紡績所の顛倒せしものに就て之を見ば其震害の強烈なるを知らん然とも皇嶋の如きは其死傷愛知縣に倍するを以て考ふ

改進新聞 第二千四百三十五号 明治十四年三月廿一日

大震災番附

死者千人餘の吉原 公園の池
尋ね人の廣告になつた 西郷の像
頼み手のカイモクない 美術家連
震災に依る日本の損害 九十二億餘萬圓
行列は被服廠から 地獄まで

五尺下つた 横濱の地面
京濱で焼けた電話機 三十二萬
御利益あらたか 淺草観世音
東京の火事が見へた 岩代福島
一尺五十圓に賣れた 活動ヒルム
乞食がなくなつた筈みんな 乞食になり

四日の朝ツイタ慰問袋
●●●へごしごし長唄の師匠
境死人口六萬八千
林女史の廢娼運動
大正の大江戸へ草ン鞋がけ
とう寫すりの官報教科書
儲けた事は儲けたが懲役二年
自警團長宛然巡査矣

九月七日流言火語取締令出づ
ウソだつた首相の死
男ばかりで●●●泣●●●
ハイ御承知の通り支拂延期令
恐れ多くも御救助金
篠つく同情歐米七ヶ國
大地は裂けて人を呑む
是れが昨日の皇都かなア

◆上野から見た武蔵野原ハヤリ出した枯すゝき節 一枚定價金拾錢也焉

大正十二年九月二十六日御届同二十八日發行